

株式会社ステムセル研究所に 臍帯血の細胞を保管している方へ

大阪公立大学医学部附属病院 小児科・新生児科
「自閉症スペクトラム障害に対する
自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」
臨床研究 参加者募集のお知らせ

自閉症(じへいしょう)スペクトラム障害(ASD)は、コミュニケーションの難しさ、社会的な課題、独特な興味・行動、感覚の過敏を特徴とする脳の発達に関連する神経発達障害の一つです。近年、ASDの発症に遺伝学的な素因だけでなく、異常な免疫反応が関与していることが報告されています。

臍帯血の細胞には免疫を調節したり、神経を保護する作用が期待されています。

本研究は、お子様ご本人が出生した時に冷凍保存しておいた自家臍帯血有核細胞(じかさいたいけつゆうかくさいぼう)を、ASDの方に安全に使えるかどうかを評価する研究です。



研究に参加いただける方

- 対象者ご本人の自家臍帯血有核細胞を株式会社ステムセル研究所に保管している方
- 国際的な診断基準に基づいて自閉症スペクトラム障害(ASD)と診断を受けている方
- 年齢が2～4歳である方

※上記以外にも参加するための条件があります。
詳しくはお問い合わせください。

- ☆研究参加期間は1年です。
- ☆お子様ご本人が出生した時に冷凍保存しておいた自家臍帯血有核細胞を腕の血管から投与します。
- ☆投与は安全のため入院にて行います。
- ☆投与後24時間入院にて経過を観察し、問題がないことを確認してから退院となります。
- ☆退院後も投与後7日目、30日目、6カ月目、12ヶ月目に来院頂き、幾つかの検査を行います。

お問い合わせはこちらへ

参加ご希望の方は、株式会社ステムセル研究所のお問合せフォームに入力して送信してください。
お問い合わせフォームはこちら

▶ <https://www.stemcell.co.jp/contact/>

大阪公立大学医学部附属病院 小児科・新生児科
電話番号:06-6645-2121(代)